

事業に対する意見について

区 分	市町村等からの主な意見（要旨）
人工林整備 事業関係	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の森林整備が進んだ。継続して事業を進めて欲しい。 ○公道沿いは、明るく、見通しがよくなり、冬季の凍結防止にもつながり地域の方に喜ばれている。未実施の地域への波及効果もあった。 ○対象森林の拡大。（造林事業の変更等により整備できない森林が多くある） ○対象森林の要件の緩和。（基準に合わず整備ができない森林が残る（公道沿い 100m 以内、林道等から 300m 以上の間や保安林）） ○奥地の距離要件の緩和。 ○公道沿いはライフライン確保のための整備を。（広葉樹、保安林も対象に） ○スギ、ヒノキから広葉樹に転換するための広葉樹植栽のメニューがあってもよい。
里山林整備 事業関係	<ul style="list-style-type: none"> ○里山林健全化整備事業における交付金額の上限 1,000 千円/ha の引き上げ。（竹林整備の初年度等は交付上限額を超える） ○対象の拡大。（公有林、中山間地域の広葉樹等） ○20 年間の協定は森林所有者には抵抗がある。同意書のようなものであれば受け入れやすい。 ○ハード整備に合わせソフト面の助成（計画・活動の立ち上げ、研修や初期活動）があると良い。
都市緑化 推進事業 関係	<ul style="list-style-type: none"> ○緑の街並み推進事業の補助対象面積の緩和。（一般の方が使うには要件が厳しい） ○身近な緑づくり事業について軌道緑化の追加。 ○県民参加緑づくり事業の参加者人数の緩和。 ○既存の緑を保全する事業の追加。（カシノナガキクイムシ被害対策等） ○維持管理も補助対象として欲しい。 ○芝刈り機なども補助対象として欲しい。 ○県主体の事業・制度の PR の強化。

区 分	市町村等からの主な意見（要旨）
環境活動 学習推進 事業関係	<ul style="list-style-type: none"> ○今後も、交付金事業を続けてほしい。 ○この交付金で道具類を整備できただけでなく、他の団体とのつながりもでき、活動に広がりがでた。 ○団体の規模によって交付金の上限額を上げるなど、柔軟な対応をしてほしい。 ○木曽川の水源である長野県で環境学習を実施するなど、他県での活動も対象になるとよい。
木の香る 学校づくり 推進事業 関係	<ul style="list-style-type: none"> ○木製は暖かみがあり、子ども達も大事に使う。 ○傷がつきやすい、天板の表面強度が問題になる。 ○対象の拡大。（教卓、教壇、図書室の本棚・机・カウンター、下駄箱、ロッカー、腰壁等） ○補助単価をあげてほしい。 ○全部木製の椅子単品の補助メニュー追加。（現在は、全部木製は机・椅子のセットのみが対象） ○小中学校だけでなく、公共施設（公民館、図書館等）も幅広く対象となるとよい。